

## 臨床腫瘍科

### 1. スタッフ（2021年4月1日現在）

診療科長（教授）藤井 博文  
 特命教授 山口 博紀  
 医 員（講師）大澤 英之  
 医 員（助教）  
 医 員（助教）

### 2. 診療科の特徴

平成18年4月に臨床腫瘍部、同年6月から臨床腫瘍科として14年目を迎えた。消化器外科・内科、耳鼻咽喉科等と密に連携しており、これらの科に関連した癌腫を取り扱い、臓器横断的に薬物療法、集学的治療を行っている。

業務の主体は外来診療であり、多彩ながん薬物療法を外来治療センターにて、看護師、薬剤師、公認心理師などのコメディカルの参加によるチーム医療を行っている。また、がん患者に特有の精神状態に対応するため、精神腫瘍科外来にて腫瘍精神科医が治療にあたっている。入院では各臓器診療科が入院診療業務を担当し、当科は化学療法の部分を担当している。

使用する抗がん薬は殺細胞性抗がん薬、分子標的薬および免疫チェックポイント阻害薬である。切除不能進行再発癌の治療対象は、頭頸部癌・甲状腺癌・食道癌・胃癌・小腸癌・大腸癌・肛門管癌・膵臓癌・胆道癌・神経内分泌腫瘍・肉腫・原発不明癌・希少癌など多岐に渡る。集学的治療としては、耳鼻咽喉科・放射線治療部との協力による頭頸部癌、消化器外科・放射線治療部との協力による食道癌に対する化学放射線療法を主に行っている。周術期化学療法として、消化器外科との協力による食道癌・胃癌・大腸癌・膵癌の治療を担当している。

対象は治癒が見込めない進行がん症例がほとんどであるため全人的治療が治療開始時から必要であり、精神腫瘍医、がん専門看護師、がん治療認定薬剤師、公認臨床心理師、メディカルソーシャルワーカー等の専門多職種によるチーム医療により対応している。

Advance Care Planningも常に念頭において治療を進めており、緩和ケア主体の時期へ移行した場合は当院緩和ケア科やご自宅近くの病院、あるいは在宅診療所・訪問看護ステーションと密に連携して対応している。

臨床研究としては、消化器外科、消化器内科、耳鼻咽喉科、口腔外科、放射線治療部と連携し約30の多施設共同試験に参加している。治験に関しても、消化器外科・内科、耳鼻咽喉科、口腔外科との連携で4つの新薬の開発試験を行っている。

また、2019年6月に保険診療となった、包括的がん

ゲノムプロファイリング検査（遺伝子パネル検査）実施における院内対応の中心的役割を果たしている。この他にも病理診断部に協力を仰ぎ、日常臨床において日々進化するプレジジョン・メディシンへ対応することができるよう常に体制を整備している。

教育面では、文部科学省「多様な新ニーズに対応するがん専門人材（がんプロフェッショナル）養成プラン」採択事業である、本学の「全人的なライフステージに応じたがん医療の実践者養成」運営の中心的な役割を担っており、医師・歯科医師・看護師・薬剤師のみならず、心理士・MSW等のがん診療に関与する全職種に対する教育を行っている。また、全国に広がる本学卒業生のネットワークを利用し、各地にて地域腫瘍学セミナーを開催し、e-learningにより地域がん診療のレベルアップを行っている。

がん患者の絶対数が増加し、また化学療法により生命予後が改善する中で、化学療法を必要とする患者数は増える一方であり、これに対応するがん診療連携拠点病院の中心的な部署として活動している。

#### ・認定施設

日本臨床腫瘍学会認定施設

#### ・認定医・専門医

がん薬物療法 指導医・専門医	大澤 英之
がん薬物療法 専門医	山口 博紀
がん治療認定医	山口 博紀
外科 指導医・専門医	山口 博紀
消化器外科 指導医・専門医	山口 博紀
消化器がん外科治療認定医	山口 博紀
消化器病 指導医・専門医	山口 博紀
胃腸科 指導医・専門医	山口 博紀
乳腺専門医	大澤 英之
乳腺認定医	山口 博紀

### 3. 診療実績

#### 1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	再来患者数	紹介率
12人	9,929人	71.4%

#### 2) 入院患者

#### 3) 手術症例

#### 4) 治療成績 解析に至らず

## 5) 合併症例

## 6) 死亡症例・死因・剖検数

死亡症例数

死因 原病死

剖検

## 7) 主な化学療法症例数

AFINITOR	7名
Cape	9名
CBDCA / PTX	3名
CDDP / 5FU	13名
CDDP / DOC / 5FU	8名
CDDP / GEM	33名
CDDP / S-1	2名
CDDP / VP16	1名
CET	4名
CET / PTX	12名
CPT	6名
CPT / PANI	5名
DOC	2名
ENHARTU	1名
Entrectinib	1名
Eriburin	1名
FOLFIRI / AFB	1名
FOLFIRI	5名
FOLFIRI / BEVA	10名
FOLFIRI / PANI	3名
FOLFIRI / RAM	6名
FOLFIRINOX	2名
FOLFOX	2名
FOLFOX / BEVA	22名
FOLFOX / PANI	7名
FOLFOXIRI / BEVA	1名
GEM	28名
GEM-S1	14名
G-SOX	23名
G-SOX / Trastuzumab	9名
Imatinib	10名
IRIS / BEVA	11名
IRI / RAM	1名
Lanreotide	2名
Lenvatinib	6名
mFOLFIRINOX	25名
nabPTX / GEM	66名
nabPTX / RAM	11名
Nivolumab	70名
Octreotide	7名
Onivyde-5FU	5名
PANI	10名
Pazopanib	2名
Pembrolizumab	12名
PTX	23名

RAM	10名
RAM / PTX	11名
Regorafenib	21名
sLV5FU2 / BEVA	15名
S-1	72名
S-1 / CDDP	2名
SOX / BEVA・XELOX/BEVA	44名
SOX / IP PTX	31名
SOX / XELOX	44名
Sunitinib	1名
TAS102	12名
TAS102 / BEVA	18名
XELIRI / BEVA	11名

## 8) カンファランス

(1) 診療科内 朝夕回診時

(2) 他科・他部署との合同

毎朝	消化器外科術前カンファレンス
毎週月曜	肝・胆・膵カンファレンス (外科)
毎週木曜	上部消化管カンファレンス (外科)
毎夕	外来治療センター多職種カンファレンス

## 9) キャンサーボード

月1回

【外来治療センター多職種カンファレンス】

1年間 246回

1月	2月	3月	4月	5月	6月
21回	18回	21回	21回	18回	22回
7月	8月	9月	10月	11月	12月
21回	20回	20回	22回	19回	23回

## 4. 2021年の目標・事業計画等

- ①外来治療センターの新予約システム導入に伴う安全かつ効率的な運用
- ②がんプロ地域がん総合医学コースによるがん医療の教育
- ③包括的がんゲノムプロファイリング検査への対応